

「血液内科疾患における化学療法患者への薬剤師・看護師 による共同説明書を用いた内服支援連携体制の有用性評 価」に対するご協力のお願い

研究責任者 大谷 壽一
研究機関名 慶應義塾大学
(所属) 医学部 病院薬剤学教室

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

以下のいずれかに該当する患者さんのうち、診療情報の研究使用に同意しない旨の申し出がない方を対象とします。

【悪性リンパ腫】

2018年4月1日～2025年3月31日までに、当院において「CHOP」「THP-COP」「R-CHOP」「R-THP-COP」「Pola-R-CHP」のいずれかのレジメンによる化学療法を新規に開始された方

【多発性骨髄腫・全身性ALアミロイドーシス】

2021年8月1日～2025年3月31日までに、当院において「ダラキューロ®配合皮下注製剤（ダラツムマブ・ボルヒアルロニダーゼ アルファ）」を含む「DBd」「DLd」「DPd」「DKd」「DVMP」「DCyBorD」のいずれかのレジメンによる化学療法を新規に開始された方

2 研究課題名

承認番号 20251049

研究課題名 血液内科疾患の化学療法患者に対する薬剤師・看護師による共同説明書を用いた内服支援連携体制の有用性評価：単施設後方視的観察研究

3 研究組織

研究機関

慶應義塾大学 医学部 病院薬 （部長）大谷 壽一
剤学教室

研究責任者

4 本研究の目的、方法

薬剤師と看護師が協力して作成した共通説明書による服薬支援が、患者の内服誤薬の防止に有用であるかを明らかにすることを目的としています。対象患者の電子カルテ情報を後方視的に調査・解析します。

5 協力をお願いする内容

対象患者さんの診療記録（年齢、性別、服薬管理の状況、誤薬発生の有無など）を匿名化したうえで研究データとして使用させていただきます。新たな検査・処置・費用などは一切発生しません。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2028年6月1日

7 外部への試料・情報の提供

本研究では、取得した情報を他機関に提供することはありません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、診療に関する情報の利用停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

慶應義塾大学病院 薬剤部

東京都新宿区信濃町 35 番地

電話：03-5363-3698（慶應義塾大学病院診療日 8:30～17:00）

担当者：末廣 直哉

以上